

①ポスター

日本技術士会 原子力・放射線部会

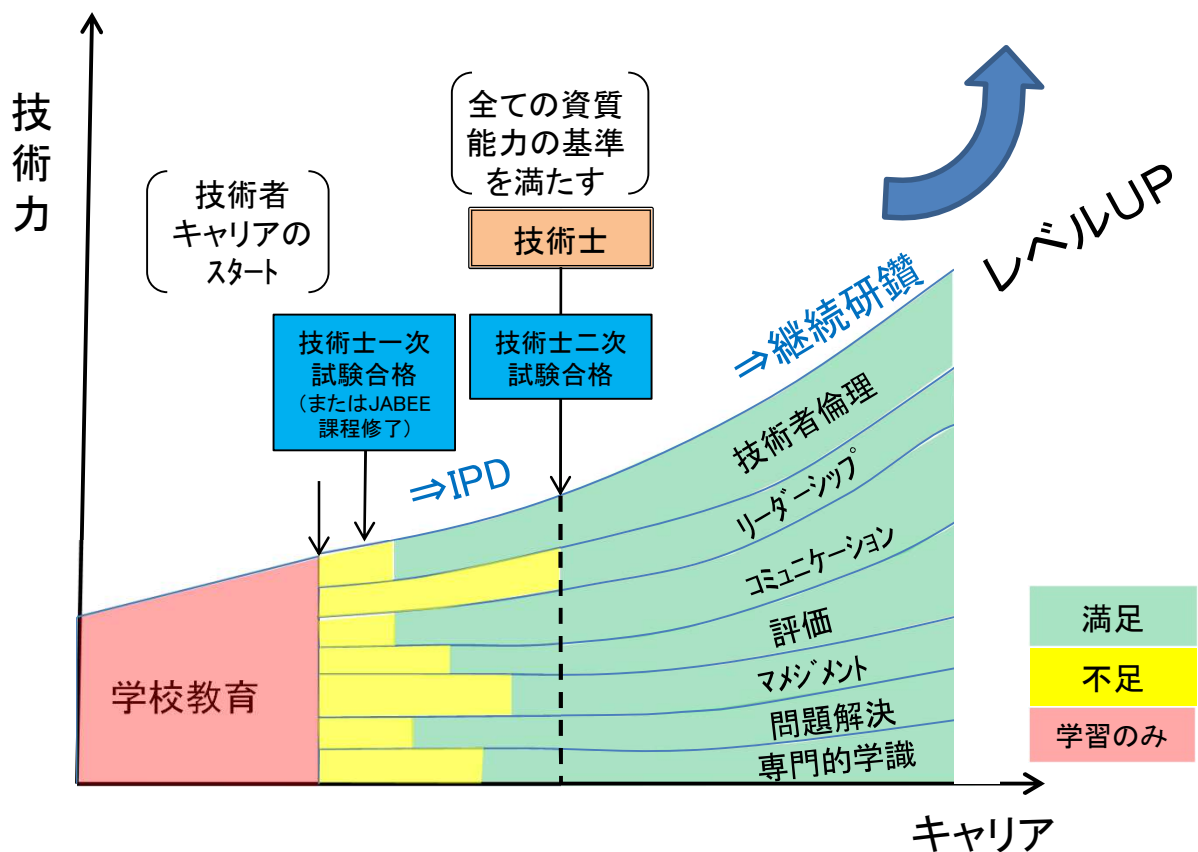
○技術士ってどんな資格？

- 博士が一つの研究分野を極めた証なら、**技術士は社会の実課題に対峙できる証**
- 試験範囲は広くて難しい、倫理も試験
- 約60年の歴史、農業・機械…21部門
- 原子力・放射線部門は約500人

○技術士は何を証明してくれるの？

- 第一次試験合格：科学技術系大学卒業生としての知識・能力
- 第二次試験合格：Engineerとしての知識・能力

○技術士=Professional Engineer は国際的に通用する！



技術士会の会員・部会活動

委員会活動等、部門を越えたコミュニティに参加し、人脈が増えた。



2017.4 大学生への
技術士説明会

地域の理科支援活動など、貢献活動に参加する機会を得た。



2016.11 茨城県内小学校
学校での理科体験協力
茨城県技術士会他

CPD講座など、自己研鑽のきっかけと継続研鑽に参加し易くなり更なるコンピテンシーの向上を図ることができた。

修習技術者との交流等を通じ、若手育成に貢献する機会を得た。

企業内業務だけでは機会が得にくい、著名な方々と会い、より広い知見が得られた。



部会主催の講演会

同じ原子力・放射線部門でも選択分野の異なる人と出会う機会を通じ、より多面的に検討する機会が増えた。



2018.10 見学会

企業の立場を超えて、『ひとりの技術士』として、原子力の抱える諸問題の検討、討論ができる。

部の役員・幹事として関わる事によって、技術士のあるべき姿への理解が深まった。

見学会等を通じ、原子力の抱える諸問題について考える機会を得た。

(注)総合技術監理部門を除く

第二次試験、いつ受ける？

- JABEE認定コースを修了・大学院卒
- 在学中に一次試験に合格して社会人スタート



JABEE課程修了
大学院研究歴
(2年)

技術士補
登録

技術士補の実務
(2年)

二次
出願

大学院を卒業後、企業に就職。就職面接の際には技術士補であることにずい分質問されましたが、少し誇らしかったです。

今は国際的にはGALレベル。この先、「大学院研究歴2年」+「実務歴2年」で4年。

社会人3年目の今年、第二次試験に挑みます！

○第一次試験合格後、監督者のもとと科学技術に関する業務に従事

社会人になって1年目、第一次試験合格。

その後、技術士補として登録はしていませんが、監督者のもととIPDでコンピテンシー研鑽して、科学技術に関する業務に4年を超える期間従事しました。第一次試験合格後5年目の今年、第二次試験に挑戦します。



一次
合格

監督者のもと、科学技術に関する業務
(4年)

二次
出願

7年を超える期間、科学技術に関する業務に従事

社会人になって7年目の昨年、第一次試験合格。

ずっと、科学技術に関する業務に従事しています。今年の春から社会人8年目。今までの業務経験でコンピテンシーには自信あり。第二次試験合格を目指します。



科学技術に関する業務(7年)

一次
合格

二次
出願

どの「タイプ」で出願するかで、添付書類が異なります。